

アンジオシール

患者さん用説明書



アンジオシールとは？

カテーテル治療後の止血

細い管くだを使用して治療するカテーテル治療は、太ももの付け根にある血管等から心臓の血管等の治療のためにカテーテルを通します。しかし、治療を終えた後はカテーテルを通した血管の穴を塞がなくてはなりません。

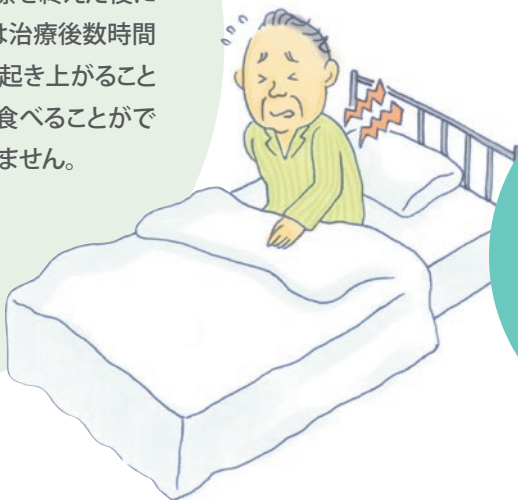
これを止血しけつといいます。



治療後

手で圧迫して止血した場合

太ももの付け根からカテーテル治療を終えた後に手で圧迫して止血した場合、通常は治療後数時間から翌日まで絶対安静となります。起き上がることができないため、お食事も座って食べることができませんし、トイレに行くこともできません。



治療

数時間*

* 医師による
止血確認後



アンジオシールを使用した場合

アンジオシールを使用して太ももの付け根を止血すると、治療を終え、帰室後ベッドを起すことができます。また、数時間後（医師による止血確認後）には自力で起き上がることもでき、その後歩行も可能となります。アンジオシールは太ももの付け根からカテーテルを通して検査や治療を終えた後、できるだけ早く止血するための器具です。

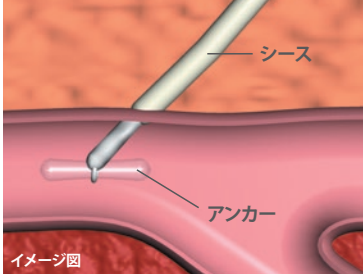
必ず担当医師の判断に従ってください。

翌日

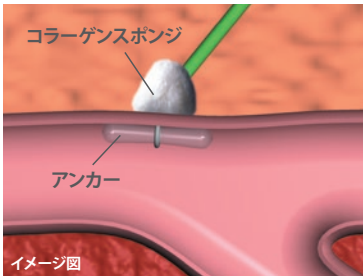


アンジオシールの止血方法は？

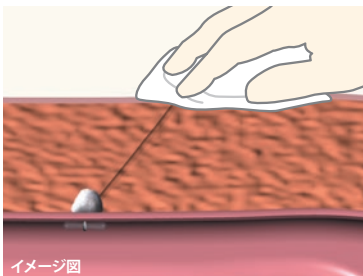
アンジオシールによる止血の流れ



カテーテルを通していた血管の穴にシースを使用してアンカーを血管内^{そうにゆう}に挿入します。

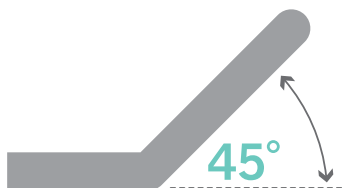


血管の内側からアンカー、血管の上からコラーゲンスポンジ^{はさ}で挟みこんで血管の穴を塞ぎ、止血します。



その後、皮膚表面に出ている糸を切り、傷口をガーゼで保護し、清潔に保ちます。

止血後から退院までの流れ



ベッドを約45度まで起こすことが可能となります。

帰宅後はベッドを約45度まで起こすことが可能となります。ただし、処置をした方の足は曲げたりしないようにしてください。また、お腹に力が入る動作は避けてください。

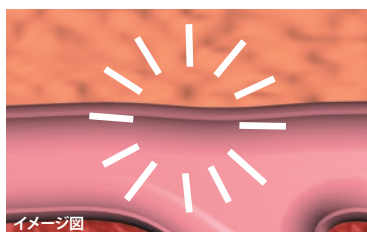


数時間*後

治療を終了して数時間*経過すれば歩行することも可能です。

治療を終了して数時間*経過すれば歩行することも可能です。ただし、歩行の可否、開始時期などは必ず医師の指示に従ってください。

* 医師による止血確認後



治療を終えて60日～90日で、部品は溶けて無くなります。

治療を終えて60日～90日経つとアンジオシールの3つの部品（アンカー、コラーゲンスポンジ、吸収系）は溶けて無くなります。

アンジオシールの3つの部品が溶けるまで、同じ場所を刺してカテーテル治療や検査を行う場合には注意が必要です。

アンジオシールが完全に溶けて無くなるまでの90日間は同じ場所を刺してカテーテル治療や検査を行う場合には注意が必要です。他の病院でカテーテル治療及び検査を受ける場合には、アンジオシールを使用したことを伝えてください。

気をつけなければならないことは？

アンジオシールにより止血を行った後も、再出血や感染症などの合併症が起きる場合があります。手術後も必ず医師の指示に従い、これらのことに注意してください。

傷口に関して

- 入院中に止血した部分が出血したり張ってくる感じや、腫れてきたり何か違和感を感じたらすぐ看護師または医師にお知らせください。もし退院後に感じたら、すぐに受診してください。
- 傷口が完全に治るまでは毎日傷口の様子を観察し、傷口の消毒とガーゼや絆創膏の交換をしてください。もし、ガーゼなど貼り付けてあるものが汚れたり濡れたりしたらすぐに交換します。
- 止血処置後24時間経ち、医師から許可が下りればシャワーを浴びることが可能です。ただし、傷が完全に治るまでは入浴（湯船につかる）やプールに入るとは避けてください。



日常生活に関して

止血後24時間以内は、お腹に力が加わるような動作（咳、くしゃみをする時、排便時等）をする際には、止血したところを軽く押さえてください。また、和式トイレの使用や正座などは、お腹に力がかかるので避けてください。



止血後24時間以内は車の運転は避けてください。



傷が完全に治るまで（数日～1週間）は激しいスポーツ等を避けてください。



傷が完全に治るまで（数日～1週間）は重い物（4～5kg以上）を持ち上げないでください。

時々見られる症状

- 止血した部分に不快感が残る。
- 止血した部分にしこりを感じる。
- 傷口からじわじわとした出血が見られる。

すぐに受診すべき症状

カテーテル治療の後の傷が治る過程において、少しの傷痕きずあとや不快感は残ることはあります。しかし次のような症状が起きたらすぐに受診してください。

- 止血した所からドクドクと脈を打つような出血やたくさん血が流れ出てきた時。
- 足の付け根が腫れてきたり、痛みがある時。
- 足の付け根が熱く、赤くなっている時。
- 発熱や悪寒おかんといった症状がみられた時。
- 傷口がなかなか治らず止血した所から膿うみなど液体が染み出てきた時。
- その他違和感を感じた時。



このパンフレットはカテーテル治療や検査をはじめ、アンジオシールによる止血を行った後に患者さんに気をつけていただきたい点をまとめました。

ご担当医師へ

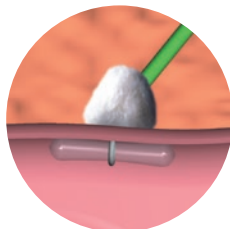
<インフォメーション>

名 前： _____ 様

アンジオシールを使用致しました。

留置日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

留置部位： **大腿動脈** 右 左



担当医師： _____ 連絡先 (Tel) : _____

医療機関名：

製造販売業者

テルモ株式会社

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2-44-1 www.terumo.co.jp

Tel: 0120-12-8195

©テルモ株式会社 2020年8月
20T254-1CB5CB2008